

02 明石川中下流部 (伊川合流～性海寺川合流)

保全 平地の小河川としては、低水護岸率が比較的低い。下流部は、希少な魚類が生息する。

課題 平瀬やトロ*1が多く河川形態は単調。魚道の無い横断工作物が多い。水辺には自然林や二次林が接する場所がほとんどない。中下流部には、顕著に減水する区間がみられる。全般に水質が汚濁傾向にある。下流部は、非常に高水温。とくに下流部で、外来魚の種数が多い。



03 明石川上流部 (性海寺川合流より上流側)

保全 攪乱により形成される裸地状湿地に生育する珍しい植物が広い範囲に分布する。この植物がこれほど連続してみられる河川は他にはない。



課題 平瀬やトロが多く河川形態は単調。数箇所“名前のある淵”消失した。横断工作物が非常に高密度で分布。上流部としては、浮石率が低い。水質が汚濁傾向。上流部としては、底生動物の種数が顕著に少ない。

05 伊川上流

保全 平地の小河川としては、低水護岸率が低い。一部の水辺に、照葉樹林(太山寺社寺林)が接する。全般に高水温の明石川水系のなかにあつては、夏季水温が比較的低い。



課題 横断工作物が多い。水質が汚濁傾向にある。上流域としては底生動物の種数が貧弱な傾向にある。

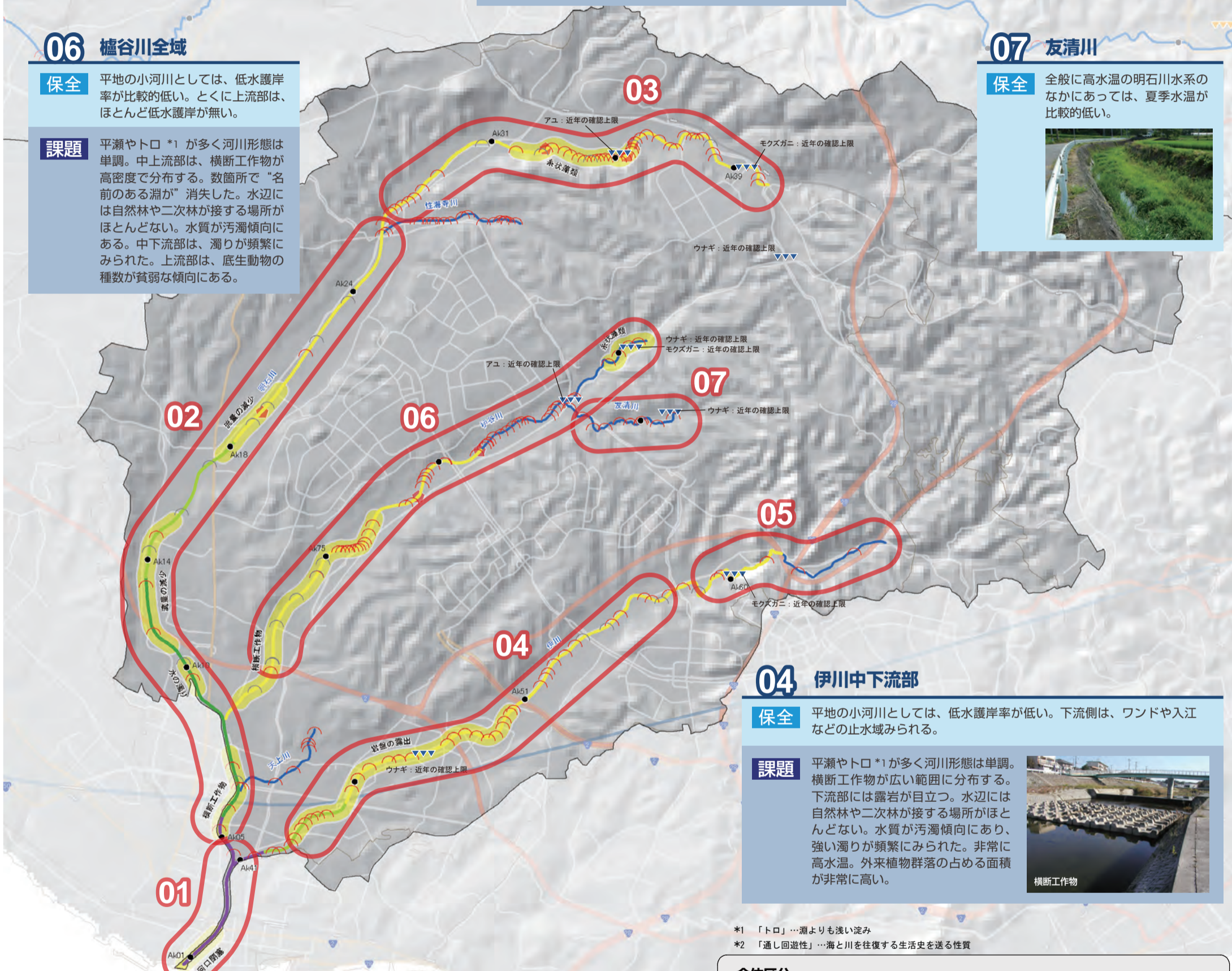
06 櫛谷川全域

保全 平地の小河川としては、低水護岸率が比較的低い。とくに上流部は、ほとんど低水護岸が無い。

課題 平瀬やトロ*1が多く河川形態は単調。中上流部は、横断工作物が高密度で分布する。数箇所“名前のある淵”消失した。水辺には自然林や二次林が接する場所がほとんどない。水質が汚濁傾向にある。中下流部は、濁りが頻繁にみられた。上流部は、底生動物の種数が貧弱な傾向にある。

07 友清川

保全 全般に高水温の明石川水系のなかにあつては、夏季水温が比較的低い。



04 伊川中下流部

保全 平地の小河川としては、低水護岸率が低い。下流側は、ワンドや入江などの止水域みられる。

課題 平瀬やトロ*1が多く河川形態は単調。横断工作物が広い範囲に分布する。下流部には露岩が目立つ。水辺には自然林や二次林が接する場所がほとんどない。水質が汚濁傾向にあり、強い濁りが頻繁にみられた。非常に高水温。外来植物群落の占める面積が非常に高い。



01 明石川下流部 (河口～伊川合流部)

保全 比較的上流部まで横断工作物が無い。河口部には、小規模ながら干潟が存在する(植生は発達しない)。汽水性・通し回遊性*2の魚類の特定種・出現頻度の低い種が比較的多い。



課題 平瀬やトロ*1が多く河川形態は単調。水辺は低水護岸率が高い。水質が汚濁傾向にある。

*1 「トロ」…淵よりも浅い淀み
*2 「通し回遊性」…海と川を往復する生活史を送る性質

全体区分

各調査結果を総合的に判断・整理したゾーニング

魚類・底生動物の現地調査地点

● 調査地点

回遊種の確認上限

▼▼ 近年の確認上限

▼▼ 過去の確認上限

植生から見た流程区分

ツルヨシ・ネコヤナギ型

移行帯

オギー・ツルヨシ型

感潮域

横断工作物の確認位置(水面比高0.2m以上)

○ 魚道あり

○ 魚道なし

間取調査による名前のある淵の現状

● 無くなった

● 浅くなった / 狭くなった

● 変わらない

● 不明

予察調査による河川環境の記録

● 課題が見つかった箇所